

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズ真管		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日 ～ 2026年3月7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 25名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日 ～ 2026年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	昨年に引き続き、児童指導員等加配加算や専門的支援体制加算をとっており、子どもたちに対して適切で充実した支援を行うことができている。	職員全員が共通認識・理解の下で、子どもたちの支援をチームで行うことが出来ている。	引き続き、子どもたちの支援をよりよく行うために、気づいたことはすぐに共有をし、それぞれの特性に合った個別支援計画を職員全員で作成していく。
2	日々の子どもの様子をその日中に保護者へ伝えることができている。	連絡帳アプリ、ブログを通じて子どもたちの様子や活動内容を都度発信している。 送迎時に今日の学習や活動の様子を伝えるように心がけている。	昨年に引き続き、保護者会を開いたが、参加人数が少なく、より興味を引けるような内容を職員全員で考え、周知していく。
3	教室は狭くないが、棚や机のレイアウトを工夫し、教室を広く使えるようにしている。 職員間の関係性が良好的である。	テーブルや学習機の配置を考え、子どもたちが目的に応じて学べるようにしている。 職員と子どもたちが、ちょっとしたことで話が出来よう関係性にあるよう関係を構築している。	学習机、テーブル、おもちゃ棚の配置を検討し、活動スペースを少しでも広げられるようにしていく。 普段のミーティングや昼食時に気軽にお互いの意見を伝えられる機会をさらに設けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの存在や職員の研修・訓練等を行っていることを知らない保護者の方が多い。	各種マニュアルが連絡帳アプリ内で確認できることや研修・訓練を実施したことに対して周知・発信が足りていない。	再度連絡帳アプリで発信していき、マニュアルの確認の仕方を伝えられるようにする。
2	障害福祉サービスの制度が複雑で理解が難しい。	障害福祉サービスの制度が複雑で一部の職員しか制度をきちんと理解していない。	事業所内で勉強会を行い、制度の理解につなげる。
3	同一法人の別事業所との連携があまりない。	新たに2月に3店舗目となる同一法人の別事業所が出来たが、それぞれで活動していることもあり、合同で取り組めるイベントを計画していきたい。	3店舗での合同イベントを企画し、それぞれの事業所での子どもたちの交流を図る。